

週刊 ヤマケイ

2018/11/15

高尾ビジターセンター企画自然教室「東京都レンジャーと一緒に自然保全活動」

12月8日(土)に開催



昨年のイベントの様子。左：表示の架け替え、右：登山道整備

東京都レンジャー(東京都自然保護指導員)は、東京都内の自然公園の保護と適正な利用を図るため活動しています。きたる12月8日に東京都レンジャー指導のもと、高尾陣馬自然公園の保全活動を実践します。毎年開催している山の保全活動で、週刊ヤマケイをご覧になった方も多く応募されているとのこと。応募締め切りは11月21日(消印有効)です。ふるってご応募ください！

実施日：12月8日(土) 雨天順延12月15日(土)(順延の場合は電話にてご連絡します)

対象：高校生以上・景信山山頂まで登山した後、作業ができる方

定員：20名(応募者多数の場合は抽選)

集合：9:00 JR高尾駅集合、小仏バス停へ移動

(バス運賃は参加費に含まれていません)

解散：15:30 小仏バス停

参加費：100円

申込締切：11月21日消印有効

応募方法：往復はがき、またはメールでお申し込みください

・往復はがきの方は(1)～(4)の項目と返信面に代表者の住所氏名を書いて下記の宛先までお送りください

・メールの方は(1)～(4)の項目と返信先のパソコンメールアドレスをご明記の上、件名を「レンジャー体験」として下記の申込専用アドレスにお送りください

(1)行事タイトル「レンジャー体験」

(2)代表者の住所、氏名(ふりがな)、電話番号(必ずご記入ください)

(3)申込み者全員の氏名(ふりがな)、年齢、性別

(4)順延になった場合、参加・不参加(抽選に影響はありません)

※お申し込みの際に頂いた個人情報は自然教室開催の為にだけに使用し、終了後は破棄いたします。

応募先: 〒193-0844 東京都八王子市高尾町 2176

高尾ビジターセンター『レンジャー体験』係

申込専用アドレス: takaovc.event★ces-net.jp

(★の部分を実@に変えてお送りください)



箱根・明神ヶ岳

秋空に映える富士山を展望



明神ヶ岳から金時山へ続く稜線から富士山を展望(写真=小瀬村 茂)



落ち葉がきれいな下山路の紅葉(写真＝小瀬村 茂)

11月10日、晴れ

関東南部では久しぶりに雨が降り、雨上がりの富士山展望を楽しもうと箱根・明神ヶ岳に登りました。箱根から見る富士山は誰もがよく知る景観ですが、明神ヶ岳から見るのはそれとは違い標高 1169m の箱根外輪山から見る富士山です。

登山口は箱根・宮城野から明神ヶ岳経由で登るコースと南足柄市の大雄山最乗寺からのコースがあり、今回は最乗寺から登りました。境内には無料駐車場があり、およそ 2 時間 30 分ほどのハイキングで山頂に立てます。

参道を少し進み左脇にある明神橋が登り口ですが、参道をさらに進んだ奥の院からのルートもあります。登る時は満天の星が出ていて天気は快晴の確信があったものの山頂はガスで視界がありませんでした。ガスの流れがはげしく、雲の切れ間から青空がいきに広がる時もありますが、流れる雲の位置が高く空しか見えません。1 時間半ほどして雲がしだいに低くなり、雲海の上に箱根の山々が姿を現しはじめました。雲間からすっとせりあがった富士山も見えます。

山頂ではほとんどの木が葉を落とし、紅葉の彩りはないものの、冠雪直後の秋空に映えた富士山はこの時期ならではの新鮮な美しさです。明神ヶ岳の先にある金時山は相変わらず雲の下に隠れて姿が出ません。

金時山へは尾根伝いに縦走する道があり人気のコースですが、マイカー登山のため今日は元の登山口へ戻ります。下山は名残りの紅葉を期待して、雑木林が続く奥の院ルートをとりました。前日の雨で厚く敷き詰められた落ち葉を踏みしめながらの快適な下山路です。風の影響を受けづらいためか、中腹付近は葉の傷みがなく、足元に散っている赤い落ち葉がひとときわ目を引きます。

稜線上は快晴でも山の斜面はまだ雲で覆われており、霧の中に霞んで見える紅葉はいちだんと趣きが増してきれいでした。

(文=小瀬村茂/山岳写真工房)

参考書籍

分県登山ガイド『神奈川県』

<https://www.yamakei.co.jp/products/2815020430.html> (紙版)

<https://www.yamakei.co.jp/products/2816120413.html> (電子書籍版)